

- 教区仏壮40周年記念大会□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光□4
- 新重点プロジェクト□5、8
- 仏壮記念大会法話・講演□6
- 教区・別院予算□9
- 響流十方□10
- つれもて聴こら□12



「紀伊国名所図会」に描かれた江戸時代後期の響森御坊

2018年(平成30年)
7月1日
第117号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

結成40周年記念大会に379人参加

和歌山教区仏教壮年会連盟



実行委員が調声と讃衆を務め正信偈のお勤めをリード

ご縁に遇えた喜びを次へ

6月2日、和歌山教区仏教壮年会連盟結成40周年記念大会が鷺森別院本堂で開かれた。「ともに聞き ともに生きる」く新たな始まりで朋友の輪を拓げようのテーマのもと、同連盟会員ら340人と来賓39人が参加して勝縁を祝った。

記念式典であいさつに立った同連盟理事長の道場雅夫(有田南組本勝寺)さんは、「このたび40周年という節目を迎えることができました。私たちは、み教えの薫りを受

け継ぎ、このご縁に遇えた喜びを次へとつないでいくことが大切であり、使命だと思えます。阿弥陀如来の智慧と慈悲のお心を、これまでみ教えにご縁のなかつ

た方々へも、正しく分かりやすく伝えていきたいと思



道場雅夫理事長

これまで理事長を務められた細谷廣延さん(御坊組専福寺)、溝根央さん(伊那組浄願寺)、立花美一さん(海南組浄國寺)には、

多大な尽力に対して感謝状が贈呈された。式典のあと



住職がメンバーを務めるバンドビートルズで祝賀会盛り上げ

は、記念法話を聴聞し、記念講演を楽しんだ。

記念大会終了後は、ダイワロイネットホテルで祝賀会。和歌山西組浄福寺の北條孝如住職がメンバーを務めるバンド「The Beatles」が、ビートルズの曲をメドレーで演奏。実行委員の保田史郎さんら3人が道中合羽と三度笠の姿で、「がまん坂」など3曲を歌いながら会場を回り、盛り上げた。

【和歌山教区仏教壮年会連盟】1977年(昭和52)5月7日に結成。現在、教区内14組の仏教壮年会(連盟)と、6カ寺の寺院単位の仏教壮年会によって構成されており、研修会や研修旅行を通し、浄土真宗をみ教えを学び、会員同士の親睦を深めている。年齢性別を問わず参加できますので、関心をお持ちの方は、所属寺院までお問合せください。加盟登録寺院も募集しています。

⑥⑦面に記念法話・講演要旨

阿弥陀さま

ハウツー仏事

と私

毎年3月から6月にかけて

末永くみ教えを伝えること願

て、教区内寺院の多くでは永代経法要が勤まります。「永代経」とは「永代読経」の略称で、永代にわたってお寺でお経が読まれる、お経さまが勤められ、お経さまに説かれた仏さまのお言葉を聴かせていただく」という意味です。

ですから永代経法要とは、末永くお寺が護持されて仏法が正しく伝えられ、子や孫たちがみ教えを聞くご縁に遇えますように、との思いを縁として勤められる法要です。

とは何でしょうか。お経さまには、在家信者がお釈迦さまを自宅に招き、食べ物や飲み物を振る舞って存分に供応するという場面が出てきます。このように敬い

「歎異抄」第五条に、「親鸞は父母の孝養のためとて一返にても念仏申したること、いまだ候はず」（親鸞は亡き父母の追善供養のために念仏したことは、かつて一度もありません）とおっしゃっておられます。なぜ、追善供養のために念仏しないのか。「念仏が自分の力で努める善でありますなら、その功德によつて亡き父母を救いましょうが」と、親鸞聖人は言われます。

⑱ 永代経法要

6月3日、有田北組の浄満寺（有田市、児嶋史晃住職）で、年に一度の永代経法要が勤められました。

本堂は老若男女110人で埋まり、筆者も出勤僧侶の一人として、参拝の方々と一緒に阿弥陀経などをお勤めさせていただきました。

浄満寺さまでは、永代経法要までの一年間に葬儀をされた方が、その悲しみを縁として、ご家族でこぞって参拝されるという習慣が根付いています。

この日参拝された方の中には、若い人やお子さんの姿も多く見られ、お念仏の教えが確実に相続されていると有り難く感じました。



110人の参拝者でにぎわった浄満寺の永代経法要

混同に注意 「永代供養」はいたしません

懇志」です。身近な方が亡くなったことがご縁でお寺に進納される場合が多いですが、お寺の護持に寄与したいという思いから、ある程度まとまった額を永代経懇志として納められる方もいます。

ところで最近、「永代供養」という言葉をよく目や耳にします。言葉は似ていても、永代経とはまったく意味が違いますので、注意する必要があります。そもそも「供養」

ところが、のちに「追善供養」という考え方が出てきます。亡き人に縁のある者が、亡き人のためになると思つて善事を行い、その功德を亡き人に差し向けようとすることです。

永代供養というときの供養もこれで、懇志を納めておけば、お寺で亡き方や先祖の供養（追善供養）をしておいてくれる、というようにイメージをお持ちの方も多いかも知れません。

しかし、ほかの宗派ではいざ知らず、浄土真宗ではこのような意味での供養はいたしません。

宗祖親鸞聖人は、法語録

「歎異抄」第五条に、「親鸞は父母の孝養のためとて一返にても念仏申したること、いまだ候はず」（親鸞は亡き父母の追善供養のために念仏したことは、かつて一度もありません）とおっしゃっておられます。

なぜ、追善供養のために念仏しないのか。「念仏が自分の力で努める善でありますなら、その功德によつて亡き父母を救いましょうが」と、親鸞聖人は言われます。

お念仏申すとは、私たちに向けられた阿弥陀さまの願いとおすくいのはたらきを聞き、自らのいのちのありようといのちの行く先を聞かせていただくことです。本堂に亡き方のことを思われるのなら、ご自身が亡き方を縁としてみ教えに遇つたことを喜ぶ身となり、その喜びを、次の世代へとつなげていただきたいのです。永代経法要は、そのためにこそあるのですから。

（松本教習・「御問朋の社会をめぐす運動」和歌山教区委員長）

新 祖蹟点描

19 光明寺

熊谷直実が出家して開いた光明寺(御影堂)



念仏聖・円照慕い西山の広谷へ

ソードとも見えるが、法然聖人は、比叡山がすでに自分の居場所ではないことに思い至ったのかもしれない。青龍寺に隠遁してから25年、比叡山に上られて30年、法然聖人はここに比叡山を下りられた。

『法然上人行状絵図』によれば、比叡山を下りられた法然聖人は、はじめ「西山の広谷に居をしめ」られたという。それは、この地に草庵を結んでいた遊蓮房円照(藤原是憲、1139~1177)を慕ってのことだった。円照は、平治の乱(1159)によって、

後の1177年(治承1)、谷直実(1141~1208)が開いたお寺として知られる。その臨終を看取ったのも、法然聖人だった。

『法然上人行状絵図』巻四十四)と言われているというから、その人格からよほどの感化を受けておられたようである。草庵の正確な場所は分かっていないが、今回訪れた光明寺の御影堂(法然聖人の御影を安置する堂)の背後にある法然聖人の廟所から西南西へ約400メートル行った所と推定されている。浄土宗は現在、大きく鎮西派と西山派に分かれるが、光明寺は西山派に属する「西山浄土宗」の本山。法然聖人に帰依した武士・熊

熊谷直実は、源平が争った一の谷の戦い(1184)で息子と同じ16歳の平敦盛を討つたことを悔い、1193年(建久4)、53歳で法然聖人の門に入り、法名を法力房蓮生と賜った。5年後の1198年(建久9)、直実は静かに念仏生活を送るため、法然聖人にゆかりの深いこの地に一字を建立、法然聖人を開山と仰ぎ、自らは二世となり、聖人から「念仏三昧院」の寺号を頂いた。

光明寺の名は、1242年(仁治3)に四条天皇から下賜された勅額による。【参考文献】藤井正雄他編『法然辞典』(東京堂出版)(本紙編集部)

法然聖人、比叡山を下りる

1175年(承安5)春、法然聖人(法然房源空聖人、1133~1212)は『観経疏』の一節に深く感得するところあって、43歳で回心を遂げられ、「専修念仏」の道に入られた。

そのころのこと、『法然上人行状絵図』によれば、法然聖人と師の慈眼房叡空との間で浄土往生に関して議論が交わされたという。法然聖人が「往生の業には、称名にすぎたる行あるべからず」(浄土往生のために、お念仏を称えることに勝る行はない)と主張さ

れたのに対し、師の叡空は「観仏すべきたるよし」(観想念仏のほうが優れていること)を主張し、言い合いになったのだという。

この議論は、法然聖人が『観経疏』から「阿弥陀仏の願い(本願)を頂くならば、お釈迦さまが観無量寿経を説かれたおころは、

あらゆるものに、ひたすら阿弥陀仏のみ名(南無阿弥陀仏)を称えさせることにある」とのお言葉を引き、

「称名念仏のほうが優れているのは明らかです。しっかり聖教(経典・論釈)をご覧ください」と、師をやり込める形で終った。師弟間のささやかなエピソード

一方の中心人物だった父・藤原通憲(信西)が殺され、一族は配流。三男だった自らは21歳で出家し、隠遁生活を送っていた。法然聖人より6歳年少だったが、世を厭う心強く、一介の聖として念仏に身を捧げていた。法然聖人は円照と生活を共にされたようだが、2年

共にされたようだが、2年

光明寺

場所 京都府長岡京市粟生西条ノ内26-1
電話 075(955)0002
交通 JR東海道本線「長岡京」駅下車、同駅西出口バス停から阪急バス22系統で20分、「旭が丘ホーム前」下車、徒歩2分。

青色青光

仲尾信博新教務所長が着任



仲尾信博師

去る4月1日付の人事異動で、仲尾信博師(滋賀教区蒲生下組願通寺)が、和歌山教区教務所長・本願寺鷺森別院輪番・本願寺日高別院輪番に着任した。

てブラジルにある南米開教区開教本部(現在の南米開教本部・本派本願寺伯国別院)に2年、さらに宗務所に戻り4年勤務。そして、沖縄県宗務事務所長・

仲尾師は1962年(昭和37)生まれの55歳。1987年4月に浄土真宗本願寺派宗務所に入り、17年間勤務。その後、開教使とし

沖繩別院輪番、富山教区教務所長・富山別院輪番、勸学寮部長を歴任し、このたびの和歌山着任となった。

3年4カ月間在任した前任の中岡順忍師は、国府教区教務所長・本願寺国府別院輪番に転任。

新旧所長歓迎会

両教務所長の歓送迎会が5月28日にホテルアパローム紀の国で開催され、122人が参加した。

鷺森別院

親鸞聖人のご誕生祝う

恒例の宗祖降誕会を勤修

鷺森別院で5月20日、宗祖親鸞聖人のご誕生をお祝いする恒例の宗祖降誕会をお勤めした。

午後1時30分からの法要には、和歌山教区内14組から各1人が出勤。参拝者と一緒に正信念仏偈をにぎにぎしくお勤めした。

その後、昨年と同じく三浦明利さんの法話コンサートを開催。三浦さんはギ



各組代表が内陣でお勤め

ターを手に「手のひらに受ける宇宙」「南無阿弥陀仏」などを歌い上げた。

「キサー・ゴータミー説話」では、我が子の死を通して、自分自身の人生の問題に目覚めていく母親の姿を、音楽に乗せて語った。

午前11時から、今年で2回目となる初参式が行われ、12人の子どもが受式。最初に讀仏偈をお勤めし、お勤め中に参加者が順番に

2回目の初参式 12人受式



仏前で焼香する受式者

焼香。続いて仲尾輪番が「初参式についての消息」を拝読し、一人一人に記念

品のお念珠と紅白まんじゅうを手渡した。最後に「小さきあこに」を斉唱し閉式。

その後、三浦さんによる初参式記念ミニコンサートが開かれ「ありがとつく私を包むすべてに」の「のんのさま」が披露された。

いのちの誕生を通して頂いたご法縁を、共に喜ぶ一日となった。

心を動かす4つの『あ』

教区少年連盟が研修会

教区少年連盟は5月9日、鷺森別院で研修会を開催、僧侶・寺族・門信徒ら30人が参加した。

「心を動かす4つの『あ』」と題し、中村好孝さん(岡山龍谷高校専務理事)が講義。

子ども会や日曜学校での子どもへの接し方を、『あ』で始まる4つのキーワードから解説した。これからの時代に必要な「あたらしい」と「アクティブ」。いつの時代でも変わることなく大切な「あきらめない」「ありがとう」という心。大人たちがこの4つの言葉をどうと、楽しむこと。それが子どもたちに自然と伝わっていくと語った。

第47回総会を開催

有賀組仏教婦人会連盟有賀組では4月15日、西方寺(紀美野町)で仏教婦人会連盟総会・研修会を開催。午前9時に開会し、平成29年度事業・会計決算、平成30年度の事業計画・会計予算について審議。

役員改選にあたり、組委員長に北原美恵子さんを選出。清水光宣師(印南町・専福寺)の法話を聴聞した。参加した39人は、3年後に迎える第50回記念総会に向け、先輩方の苦勞をしのび決意を新たにしたい。

今年度から貧困問題がテーマ

実践運動の「新重点プロジェクト」学ぶ

宗門が推進する「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の総合基本計画が今年度から一部改訂され、重点プロジェクトの実践目標を、昨年度まで3カ年度取り組んだ「次世代を担う人の育成」から「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace(子どもたちを育むために)へと変更。貧困問題をテーマに運動を進めることになった。これを受け5月25日、「教区重点プロジェクト推進のための学習会」が鷺森別院ホールで開かれ、教区内僧侶・門徒ら42人が参加。宗派から出向した重点プロジェクト推進室・宇野哲哉部長、浄土真宗本願寺派総合研究所・岡崎秀麿上級研究員から、重点プロジェクト変更の経緯と新重点プロジェクトの内容などを学んだ。



教区内から42人が集まった学習会

前半は、宇野部長から重点プロジェクト改定の経緯について報告を受けた。



宇野哲哉部長

改訂のキッカケは、専ら門主のご親教『念仏者の生き方』と『伝灯奉告法要御満座の消息』発布を受け、重点プロジェクトも、そのお心を体した内容に変えるべきだとの声が上がったためとのことだった。

これにより、『念仏者の生き方』のなかで、「経済格差」が人類の生存に関わる問題の一つとされていること、宗門の平和貢献策案の一つとして「経済格差・貧困の克服へ」が挙げられていたことを踏まえ、新し

い実践目標を定めたという。2015年に国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)でも、17分野で2030年までの目標を掲げているが、最初の分野が貧困だという。

宗門としても世界を視野に入れつつ、「布施」の精神に基づき、できることから始めたいとしている。

これとともに運動推進期間を見直し、教区役職者の任期と整合性を持たせるため、第1期を2年、第2期を4年とすることになった。後半は、岡崎上級研究員から「貧困」、とりわけ子



岡崎秀麿研究員

供たちの貧困状況と、我々がどのようにその課題に向き合っていけばよいかについて説明いただいた。それによれば、貧困には

絶対的貧困と相対的貧困があるという。絶対的貧困とは、一般的に想像するように、住む場所・食べる物・着る物がなく、命の危機に直面しているような貧困。

相対的貧困とは、その国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態であるという意味での貧困だという。日本の相対的貧困率が先進国のなかで5番目と高いことに驚かされた。

相対的貧困は、他人から見れば、それほど苦しみではないかのように見える。しかし、相対的貧困の状況にある子どもは、学校でも周囲の子どもが持っている物を持っていないなどの理由で孤立しがちだという。

それにより、仲間外れに遭うなどして徐々に学校に行かなくなり、学力・体力も低下していくという。

こうした状況を放置しておくと、いざれ道を踏み外したり、そうでなくとも、貧困状況が親から子へと引き継がれるという悪循環に陥るのだという。

その対策として、相対的貧困状況にある子どもに対して、食事支援や学習支援などのケアを寺院で行っていかうとの提案がなされた。

現在でも土曜学校や日曜学校、キッズサンガなどに取り組まれている寺院が数多くあるが、さらに一歩踏み込んで、こども食堂や、両親が共働き世帯の場合、子どもが家で一人になりがちな午後3時から6時の間、お寺で子どもを預かるなどの活動が広がっていかうということだった。

学習会に参加し、我々がいかに身近に存在する苦しみにも気付かず、己のことばかりにとらわれているかを痛感させられた。

それでも今回学んだ新しい実践目標を意識して寺院を運営していくことが、『念仏者の生き方』で示された、「少しでも仏さまのお心かなう生き方を目指し、精一杯努力させていたたく」ことにつながるのではないかと強く感じた。(和歌山西組松壽寺・小川真史)

私は5年ほど前まで16年間、西本願寺の伝道院で若い僧侶の方々が勉強されるお手伝いをさせていただいておりました。



記念法話 高橋哲了師

「親鸞聖人に聞く念仏のすくい」

本当に安心できる場所とは

若い方を連れて毎年いろんな場所へ見学にまいりました。そのなかに守口市立第三中学校(現在は統合され、守口市立さつき学園)の夜間部がありました。中学校に夜間部があるのはおかしな話ですが、日本の人口の約1%、140万人から150万人の方が、義務教育を終えておられないという現実があるそうです。7年前、NHKでも「学ぶことは、生きること」夜間中学の現場から」という番組が放送されました。ある年の交歓会(おたのしみ会)のとき、年配の女性がこんな作文を読んでくださいました。「私は生まれつき少し物事を理解する力が劣っているように思いました。そんなこともあり、私の行動もみんなより少し遅れておりました。

和歌山教区仏教壮年会連盟結成40周年記念大会
 念大会では、高橋哲了師(安芸教区広陵東組妙蓮寺住職、仏教壮年会連盟講師、本願寺派布教使)が「親鸞聖人に聞く 念仏のすくい」と題し、記念法話。樋口強さん(いのちの落語家、作家)が「いのちの落語ー笑いをお供に輝いて生きるー」と題し、記念講演と創作落語の実演を行った。

本当の健康とは

皆さんは健康ですか。健康って何でしょうね。それをお考えませんか。病院に行かなければ、治療しなれば健康なんでしょうか。

記念講演 樋口強さん



「いのちの落語ー笑いをお供に輝いて生きるー」

強さんは健康ですか。健康って何でしょうね。それをお考えませんか。病院に行かなければ、治療しなれば健康なんでしょうか。

強さんは健康ですか。健康って何でしょうね。それをお考えませんか。病院に行かなければ、治療しなれば健康なんでしょうか。



創作落語の実演では、医師免許が更新制となり、更新試験の際、小断で試験官を笑わせなければ、免許失効するという設定で、医師が小断予備校で奮闘する様子を演じ、本堂を笑いの渦に巻き込んだ。

したら、いきなり頭の上から水を浴びせられました。一杯ではありません。次から次へと掛けられました。私はトイレを飛び出し職員室に駆け込みました。

先生は、厳しく叱っておくからな、と言われました。でも続けて、いじめられているあなたにもまったく問題がないわけじゃない、と

おっしゃったんです。私は理解できませんでした。思い出した。学校という場所は、私がおつてはならん場所だ。だから私は学校へ行くのをやめました。

今、命をつないでおります。ただ、この抗がん剤は副作用も強いんです。私も後遺症が残っております。

頭の先から足の先まで体中がしびれたままなんです。感覚神経がまったくありません。足の裏が地面に着いているのが分からないんです。

今、皆さん笑ってらっしゃいました。すてきな笑顔でした。だから皆さん、樋口さん笑わせてよっておっしゃるんです。そうじゃなくて、自分のほうから一歩踏み出しませんか。相手を笑わせてあげませんか。

夜間中学で学ぶ年配の女性 小学校を中退し、読み書きできずに苦しんだ過去語る

とうとう読めんようになってしまったんですね。その女性にはホロホロ涙を流されました。そのとき86歳の女性が立ち上がり、泣いておる彼

女を抱きしめながら、支えられた。この方が作文を目で追いだした。そのうちこの方の目からも涙がこぼれ支えたまま一緒に泣き出したんです。そしたら、また一人がパッと立ち上がり、今度は二人を支えます。「同悲同苦」と申します。阿弥陀さまのお慈悲のほたらきを見せてもらおうような気がしました。次から次に同級生の方々が立って、彼女を中心に寄り添い支え合いながら、共に涙を流しておられました。

お土産に小断3つ

今日はお土産に小断を三つ差し上げます。一つ目。「お母さん、炊飯器が火い吹いてるよ。何入ってるの?」「えっ、かやくご飯」。二つ目。イタリア料理店です。「お待たせでした。さ、ご注文のピザでございます。

自分から一歩前へ

今、皆さん笑ってらっしゃいました。すてきな笑顔でした。だから皆さん、樋口さん笑わせてよっておっしゃるんです。そうじゃなくて、自分のほうから一歩踏み出しませんか。相手を笑わせてあげませんか。

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

和歌山教区 重点プロジェクト

2018~2019年度

重点プロジェクト

重点プロジェクト

権や平和問題、並びに社会福祉活動に関すること。

「World Peace for Children」を「貧困の克服に向けて」Dana for World Peace for Childrenと掲げ、各組や各寺院と連携しつつ、強力に取り組みを進めていきます。

推進期間

2018(平成30)年度から2019(平成31)年度までの2年間

推進計画

▼達成目標 貧困問題について学びを深め、取り組みを進める。

▼推進計画【2018年度】教区において、研修会を開催し、学びを深める。

【2019年度】全組において研修会を開催し、学びを深め取り組みをすすめる。

総合基本計画

活動内容

和歌山教区では、宗門の総合基本計画に基づき、伝灯奉告法要のご親教『念仏者の生き方』に学び、自他ともに心豊かに生きることがのできる社会をめざし、さらには僧侶・寺族・門信徒が手を携えて真の同朋教団・伝道教団としての責務を果たすため、次世代を担う人の育成を継続して行い「御同朋の社会をめざす運動」を展開いたします。

運動推進にあたり、活動内容を具体的に明確化するため、左記の専門部会を設置し、相互の連携のもとで運動の展開を図ります。

縁づくり推進に関すること。

【広報伝道部】教区報、テレホン法話、ホームページなど、さまざまな媒体を使用した広報活動に関すること。

【社会問題担当部】部落差別を中心とする差別・人

和歌山教区では、「重点プロジェクト」の「実践目

2団体で役員改選

仏教婦人会連盟

▼委員長 山崎三津子 (有田南組極楽寺)

▼副委員長 加藤克子 (和歌山西組万福寺)、武田千春 (加茂組願称寺)

▼会計 辻友美 (和歌山北組永正寺)、北原恵美子 (有賀組西方寺)

▼監査 東岡百合子 (和歌山東組蓮光寺)、田原寛子 (日高組長覚寺)

▼委員 湯川恭子 (和歌山組善能寺)、阪本美知子 (海南組教専寺)、中川祥子 (海草組積善寺)、伊那組玉川寺 楠本悦子、林芳江 (有田北組浄行寺)、久堀君枝 (御坊組安養寺)、高畑啓子 (紀南組安楽寺) ※任期は2018年4月

門徒総代会

▼会長 山本勇 (和歌山北組慶圓寺)

▼副会長 八尾進 (和歌山西組正善寺)、平畑栄治 (有賀組安楽寺)

▼会計 山田英一 (御坊組源行寺)

▼監査 金谷善進 (海草組真宗寺)、田端三津雄 (日高組宝国寺)

▼委員 太田雄造 (和歌山組専念寺)、中村裕 (和歌山東組浄明寺)、小山勢至 (加茂組徳心寺)、坂本哲朗 (海南組教専寺)、谷口庄亮 (伊那組西照寺)、垣端徳造 (有田南組教専寺)、辻本壽雄 (有田北組浄念寺)、蒲田嵩 (紀南組勝徳寺) ※任期は2018年4月1日から2020年3月31日までの2力年度。 順不同、敬称略

ラジオ放送番組
みほとけとともに
- 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から
- 和歌山放送 (WBS) -
和歌山・串本 1431kHz
田辺・すさみ 1233kHz
橋本・高野山 1485kHz
新宮・御坊 1557kHz

スローガン

「結ぶ絆から、広がる縁へ」

【寺院活動推進部】僧侶・寺族の研修や伝道教化・法座活動に関すること。

【門信徒教化部】連研、門信徒研修、子ども若者で

教区賦課金調査検討委員会

6月12日、鷲森別院で第1回目が開催

和歌山教区賦課金算定基準等の適正化を図り、抜本的な見直しを行うと、「和歌山教区賦課金調査検討委員会」が設置され、6月12日に第1回委員会が開催された。

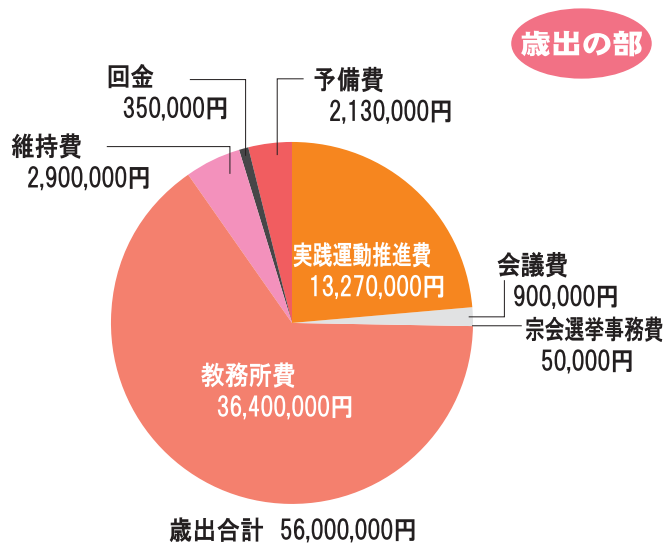
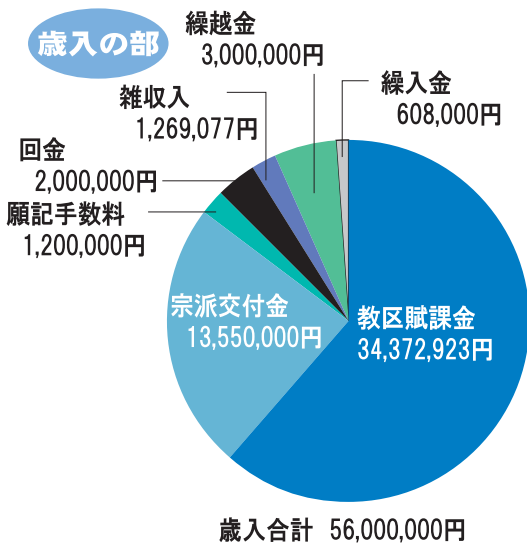
これは、和歌山教区・本願寺鷲森別院財政検討委員会（教区報まごのもり第112号にて紹介）の答申を受けての設置となる。財政検討委員会は、財政状態が逼迫している和歌山教区と本願寺鷲森別院について、施設面、財政面から早急に対策を検討し実行する必要があるという意見から設けられ、2016（平成28）年11月1日に第1回委員会が開催されて以降、5回の常任委員会、そして2回の委員会の協議を経て、2017（平成29）年6月8日付で教務所長に答申書が提出された。

これを受けて、本年3月29日に開催された教区協議員全員協議会で「和歌山教区賦課金調査検討委員会設置に関する内規」が定められ、和歌山教区賦課金調査検討委員会が設置されることになった。

委員には、教区会正副議長2人、教区内3つのブロックから2人ずつの教区協議員、組長14人、教区会正副議長2人、和歌山教区門徒総代会正副会長2人、学識経験者として宗会議員2人の計26人で組織され、その中の9人で常任委員会が構成されている。2019年度内をめどに答申できるように今後も協議が重ねられる。

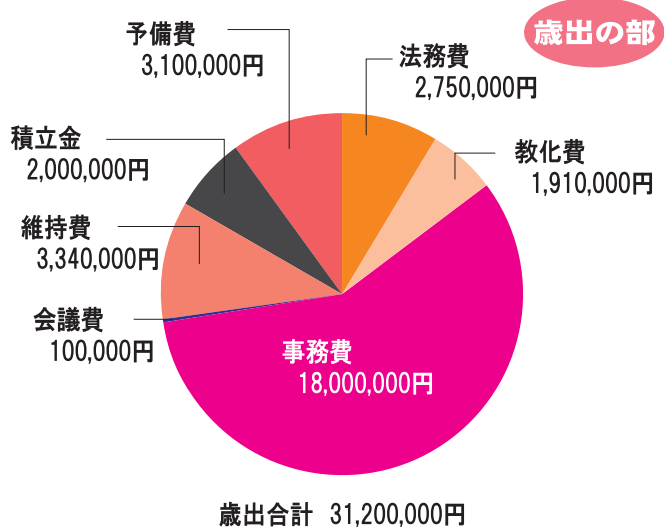
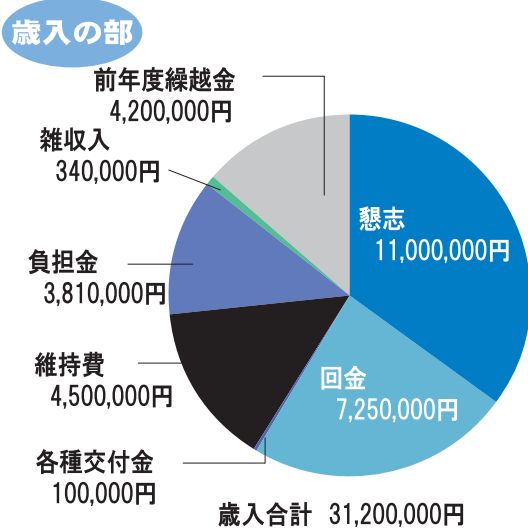
2018年度和歌山教区一般会計歳計予算

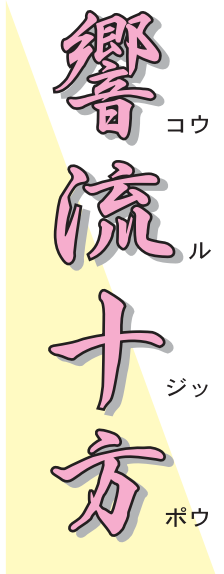
(2018年4月1日～2019年3月31日)



2018年度本願寺鷲森別院一般会計歳計予算

(2018年4月1日～2019年3月31日)





7~9月の催し

本山

8月6~10日 朝の法座
(大谷本願)
8月14~15日 孟蘭盆会
8月15日 戦没者追悼法要
9月18日 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要(千鳥ヶ淵)
9月20~26日 秋季彼岸会

和歌山教区

7月5日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)
7月9日 第25回平和を希う念仏者の集い(鷺森別院)
7月11日 寺族女性会第2回委員会(鷺森別院)
7月13日 勤式講習会(鷺森別院)

教区内各組

9月22日 本願寺仏教文化講座初めて学ぶ「正信偈」講座①(鷺森別院)
9月27日 公聴会(鷺森別院)
9月29日 第3ブロック聞法の集い(日高別院)

和歌山組

7月6日 寺族婦人会例会(円明寺)
7月21日 第7期門徒推進員養成連続研修会⑧(鷺森別院)、住職・寺族・各教化団体委員合同組内会・懇親会(あおい茶寮)

和歌山西組

7月1日 第11回和歌山西組キッズサンガく子どもの集い(鷺森別院)
7月8日 第17期門徒推進員養成連続研修会⑧(正立寺)

加茂組

7月14日 第16期門徒推進員養成連続研修会①(教徳寺)
8月4日 第16期門徒推進員養成連続研修会②(願称寺)

海南組

9月未定 第16期門徒推進員養成連続研修会③(未定)
7月21日 第3期門徒推進員養成連続研修会⑪(遍照寺)

伊那組

8月22日 第10回キッズサンガ(光円寺)

有賀組

7月2~3日 第20回有賀組念仏奉仕団(本願寺)
7月28日 組内会(専念寺)

有田南組

7月初旬 組内会(称念寺)
7月初旬 キッズサンガ準備委員会(称念寺)
8月下旬 実践運動推進協議会(未定)

有田北組

9月8日 キッズサンガく子どもの集い(未定)
7月12日 第2回寺族女性会研修会(光明寺)
7月21日 門信徒研修会(浄念寺)

日高組

7月未定 第2回協議員会(有田川町吉原・教念寺)
7月14日 門徒総代会前期研修会(蓮専寺)
8月4日 第12回キッズサンガく子どもの集い(浄明寺)

御坊組

8月19日 御坊組キッズサンガ(日高別院)
9月29日 第3ブロック聞法の集い(日高別院)

紀南組

7月30日 紀南開教布教(専光寺)

得度

6月 北山美和(日高組光専寺)

教師

3月 山本顕生(和歌山北組浄水寺)

敬弔

澤崎ミツ子(有賀組善行寺衆徒) 4月15日
佐々木薫(紀南組長徳寺前坊守) 4月15日
毘舍利尚子(和歌山西組願成寺前坊守) 5月11日
伊藤佐江子(和歌山組瑞林寺前坊守・衆徒) 5月29日
北條照子(紀南組妙道寺前坊守・衆徒) 6月20日

ご生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げます。謹んで敬弔の意を表します。

第25回 ねが 平和を希う念仏者の集い

和歌山大空襲の日に「全戦没者追悼法要」

—ドキュメンタリー映画『ふじ学徒隊』を上映—

7月9日、鷺森別院で

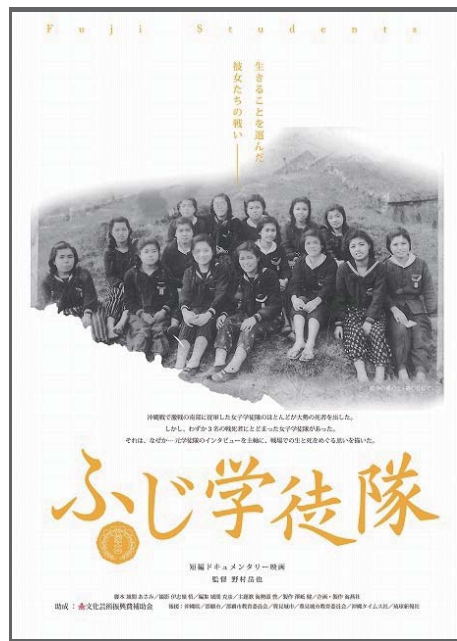


昨年全戦没者追悼法要の様子(鷺森別院本堂)

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)和歌山教区委員会は、毎年恒例の「平和を希う念仏者の集い—全戦没者追悼法要—」を7月9日、鷺森別院本堂で開催する。

午後1時30分から追悼法要をお勤めし、2時20分からは、かきこみグループが鷺森によるコーラス仏教讃歌。引き続き3時10分から、仲尾信博・和歌山教区教務所長が「ふじ学徒隊」くもう一つのひめゆりくと題し講演し、ドキュメンタリー映画『ふじ学徒隊』を上映する。

この映画は、太平洋戦争



中の沖縄戦で、「ふじ学徒隊」として傷病兵の看護に当たった仏教系の積徳高等女学校4年生25人が、戦火をくぐり抜けて、人間らしく生きていこうとする歩み

の記録。捕虜になるよりは自決を選ぶことが美德とされた時代に、3人しか戦死者を出さなかった同隊の内実に迫っている(48分)。

閉会は午後4時10分予定。

日高別院の催し

■ 秋季彼岸会

9月24日、午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め。引き続き仲尾信博(本願寺日高別院輪番)が法話。

■ 常例法座

10月20日、午後1時30分から正信偈草譜をお勤め。引き続き午後3時ごろまで藤田朋之師(東近江市・教勝寺)の法話を聴聞する。(本願寺日高別院 御坊市御坊100 電話0738-12210518)

鷺森別院の催し

■ 常例法座

7月15、本多昌道師(近江八幡市・願證寺)、16日、山本行圓師(紀の川市・蓮乗寺)。8月16日、上谷良昭師(神戸市中央区・報恩寺)。9月15、16日、小西善憲師(大阪市旭区・信徳寺)。いずれも午後1時30分から別院1階の書院でお勤め、引き続き午後3時30

分まで上記布教使の法話を聴聞する。

■ 孟蘭盆会

8月15日、午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め。引き続き午後3時まで、上谷良昭師の法話を聴聞する。

■ 秋季彼岸会

9月23日、彼岸会をお勤めする。午前10時から11時30分までと、午後1時30分から午後3時までの1日2

分まで上記布教使の法話を聴聞する。いずれも座お勤めされる。いずれも本堂で仏説阿弥陀経をお勤めし、引き続き法話を聴聞する。

■ 子ども会

9月8日、午前10時から正午まで開催する。いろいろのうたをお勤めし、その後ゲームなどを行う。詳細は鷺森別院まで。(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-42214677)

つれもて 聴こしら

今から三年ほど前、京都から新大阪に向かう電車での話です。座席に座りたかったのですが、大変混んでおり座れませんでした。仕方なくつり革につかまり立っていたところ、目の前に座っていた大学生くらいの若者が立ち上がり、「どうぞ」と言いました。

私は周りにお年寄りがいるのかなと思い、辺りをキョロキョロと見渡しましたが、誰も見当たりません。もしかして私のことかと思

なか がわ きよ ちか 中川清昭

いましたので、「じゃあ代わりに、私とその荷物を持ちますね」と、私の膝の上に荷物を置いてもらいました。そうすると彼は「ありがとうございます」と笑顔がこぼれます。

彼は大きな荷物を持って

見れば、きつとどこでもいい光景に見えたかと思えます。しかし、私の心の中では、相当なショックを受けました。それは私が、生まれて初めて人から席を譲ってもらったからです。その日の用事を終え、宿泊するホテルに帰るなり、ど老けてはおらんけどなあ」と思い、自分の姿から目を背けながら、ふと、ある言葉を思い出しました。それは「経教はこれを喩ふるに鏡のごとし。しばしば読みしばしば尋ぬれば、智慧を開発す」(註釈版聖



電車で席譲られ気付く

お経とは、仏さまの「み教え」です。その教えは、私の姿を映し出す鏡のようなものであると示されます。私たちが目にするお経は、漢文で記されています。それを読んですぐに理解できる人がどれほどいるでしょうか。お経は目で見るだけでは理解できません。善導大師が「しばしば読みしばしば尋ぬれば、智慧を開発す」と示しておられるように、しばしばお経を口にとなえ、しばしばその意味を考え、聴いていくことが大切なのです。この聴いていくというのは、仏法を聴聞することです。

この世界に存在する多種多様な生物の中で、人間だけが鏡に映った自分を見て、それが自分の姿だと認識できる知能を持っています。普通の鏡は、目で見て自分を認識する鏡ですが、お経という鏡は、耳で聴いて認識する鏡です。そしてここで大切なのが、耳で聴いた姿を自分の姿であると認識できるかどうかです。お経

お経は私の姿を映し出す鏡

い、内心びつくりして心がソワソワとしました。ですが、彼もせつかく勇気を出

私は部屋にあった大きな鏡の前に立って、自分の姿を眺めました。「言われるは

典七祖篇(387)という善導大師が『観経疏』に示されたお言葉です。

で答えてくれました。

お互いが笑顔でしたこの

やり取りは、周囲の人から

眺められました。「言われるは

示されたお言葉です。

(筑紫野市山口・願應寺)

5月15日の鷲森別院二尊

会の法話から